

TEL 233 340 000
 FAX 224 313 684
 Email Jschool @volny.cz

V L T A V A

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

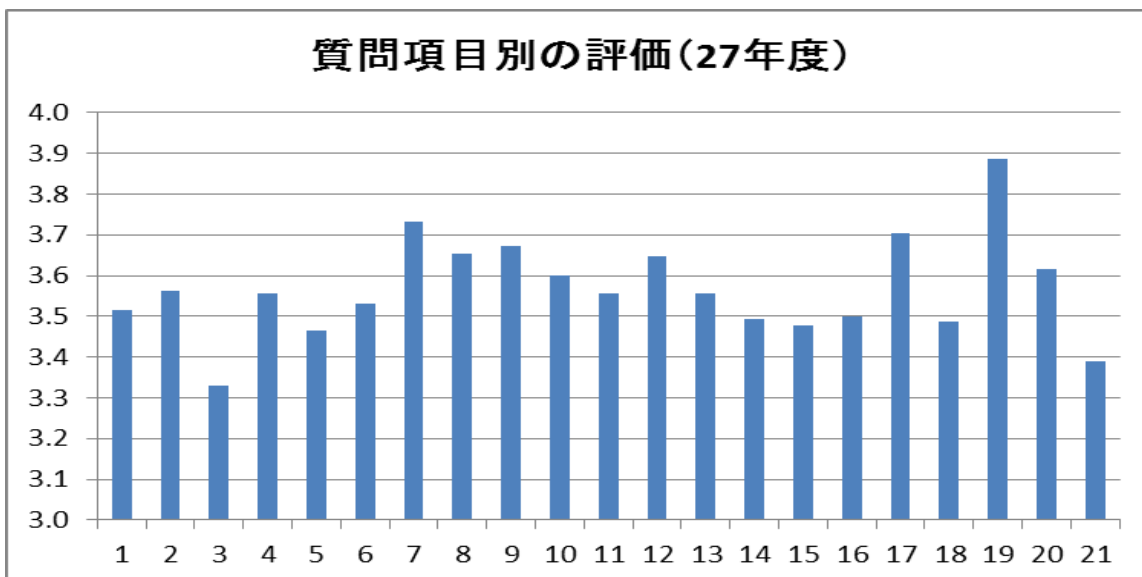
「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

平成 27 年度 学校評価アンケート集計結果 (全体懇談会当日、この資料をご持参ください。)

No	学校評価アンケート 質問内容	評価
1	学校では、日本人のアイデンティティーを大切にした教育が行われている。	3.51
2	学校は、国際理解を深める教育に積極的に取り組んでいる。	3.56
3	学校では、特色のある教育活動が行われている。	3.33
4	学校は、社会のルール、マナーや基本的生活習慣を身につけさせようとしている。	3.56
5	学校は、自主・自律的な子どもを育てようとしている。	3.46
6	学校は、基礎学力を充実させるよう努めている。	3.53
7	学校の雰囲気はよく、教員・職員は礼儀正しく親切である。	3.73
8	管理職（校長、教頭）は、学校の対応や方針についてきちんと説明してくれる。	3.65
9	教員は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	3.67
10	教員は、子どもの能力や努力を適切、公平に評価してくれる。	3.60
11	教員は、子どもの間違っただ行動をきちんと指導してくれる。	3.56
12	教員・職員は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。	3.65
13	学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	3.56
14	学習の内容や進度等を、懇談や学級通信等によってよく知ることができる。	3.49
15	通知表の内容（学力や達成度等）を、保護者は適切に把握することができる。	3.48
16	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	3.50
17	子どもは、学校生活が楽しいといっている。	3.70
18	子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。	3.49
19	子どもは、運動会、学習発表会、その他の学校行事に積極的に参加している。	3.89
20	学校は事故防止に配慮し、子ども・保護者の安全に対する意識を育てようとしている。	3.61
21	学校は、施設、設備の充実・整備に努めている。	3.39

「評価」は、
 A（よくあてはまる）、
 B（ややあてはまる）、
 C（あまりあてはまらない）、
 D（あてはまらない）
 の4段階評価を、4～1に点で点数換算した平均値です。

質問項目別の評価(27年度)



（高い評価）

1. 子どもは、運動会、学習発表会、その他の学校行事に積極的に参加している。(3.9)
2. 学校の雰囲気はよく、教員・職員は礼儀正しく親切である。(3.7)
3. 子どもは、学校生活が楽しいといっている。(3.7)
4. 教員は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。(3.7)
5. 管理職（校長、教頭）は、学校の対応や方針についてきちんと説明してくれる。(3.7)

（低い評価）

1. 学校では、特色のある教育活動が行われている。(3.3)
2. 学校は、施設、設備の充実・整備に努めている。(3.4)
3. 学校は、自主・自律的な子どもを育てようとしている。(3.5)
4. 通知表の内容（学力や達成度等）を、保護者は適切に把握することができる。(3.5)
5. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。(3.5)

子どもたちが学校行事に熱心に参加し、また学校生活が楽しいと感じていること、また教員が熱心に教育に取り組み礼儀正しく親切であると評価されたことは、28年度の教育への大きな励みになります。しかし、自主自律的な子どもの育成や通知表の内容の伝え方については、今後さらに保護者の方々の要望にしっかりとお答えする必要があります。「特色ある教育」については、在外教育施設の目的である「学力の保障」と「国際性の涵養」をめざし、これからもていねいに教育の質の向上に取り組んでまいります。授業については、学年が上がるにつれて、「わからない」「むずかしい」という反応が増えていきますが、授業の中で「考える力・判断する力・表現する力」を鍛えながら、学ぶことの本質的な喜び・楽しさを育てなければならぬと深く肝に銘じたいと思います。

【学習指導】

少人数学級の良さを生かしたきめ細かい指導が行われることで、児童生徒が意欲的に学習に取り組んでいけると考えています。そのために、毎時間の授業の目標を明確にして、学びあいを通して学力をつけてまいります。今子どもたちに求められている学力とは、基本的な知識・技能だけでなく、考える力・表現する力そして学習意欲とされています。小中学校の9年間の発達段階を考慮しながら、各学年にふさわしい学習課題を克服させていきます。アンケートでは、低学年の「敬語や挨拶ができるようになった」「毎日楽しく学校に通っている」から、学年が上がるにつれて教科への要望や課題についてのご意見もいただきましたので、個人面談などさまざまな機会を通じて相互理解を深め、改善に努めてまいります。派遣教職員数や借用施設という制約、児童生徒の安全の確保などの課題もありますので、今後も継続して検討してまいります。

【生活指導】

日本人学校では、日本の文化・伝統・習慣を通して望ましい社会人を育てていくことを目標としています。今後も「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣、社会生活上のきまりや善悪の判断を身に着けさせるために、教職員はもとよりご家庭のご協力も仰ぎながら進めてまいりたいと考えております。子どもたちの学校生活における活動内容や場所につきましてもさまざまなご要望等を頂きましたので、本校の教育活動の重点を考慮しながら検討してまいります。また、子どもたちはそれぞれの発達課題に向き合いますので、面談や連絡帳などご家庭との連携をより一層深めてまいります。体力の向上につきましても、施設設備、時間の制約や安全面の課題がありますが、今後も重要テーマとして取り組んでまいります。

【保健・安全】

テロによる国際情勢の緊張に伴いまして、今年度はフェンスのかさ上げ・監視カメラの増設と性能向上・1階教室窓格子の設置を行いました。また、大使館からの注意喚起など安全情報につきましては、学校だより・ホームページでもお知らせするとともに、チェコ国外旅行の際には学校への連絡もお願いしております。断水等の情報についてもホームページでお知らせしておりますのでご利用ください。低学年の校外活動（クリスマスマーケット見学）では、PTAのご協力を頂き安全面でもより一層の留意ができました。感謝申し上げます。登下校中のスマホやゲーム機の使用に伴うトラブルや事故につきましてもご指摘を頂きましたので、学校の指導と合わせてご家庭でも十分に指導のほどお願い申し上げます。ほかにも健康管理に関する要望がございましたので、チェコ国内法との整合性など研究しながら検討してまいります。

【学校行事】

運動会、学習発表会等の学校行事については、子どもたち一人ひとりが主役となって切磋琢磨し、学びあい高めあう活動となることができました。それぞれの行事におきましては、さまざまな改善のご意見等を頂きました。小中学生の体力差や借用施設のために使用時期や時間の制約がありますので、それらを配慮しながら検討してまいります。

【進路指導】

進路指導とは、生き方指導であるといわれます。子どもたちが将来の夢に向かって前向きに取り組んでいけるように今後もきめ細かい指導を続けていきたいと考えております。海外では受験への不安もありますので、学校からは進路情報をさらに適切に提供するとともに学力到達度テストを実施し、児童生徒の客観的な学力の把握にも努めてまいります。

【国際理解】

国際性の涵養は、日本人学校の最重要課題でもあります。来年度も引き続き英語教育の充実に取り組んでまいります。また、英語だけでなく、ホスト国であるチェコ語に対しても敬意を表していきたいと考えます。必要な日常会話を習得して、より一層の国際交流を進めてまいりたいと考えます。本年度は、チェコ現地校と本校の教員の交換授業を英語で実施いたしました。海外ならではの取り組みを今後も検討してまいります。

【学校開放】

本年度から、日本人学校の就学規則が一部改正され、チェコ日本人会会員であることが加えられました。本校の校舎は、チェコ日本人会が所有し、火災保険等の支援もいただいております。学校開放に当たりましては、保護者等のボランティアによるご協力を頂いておりますことをご報告させていただきます。

【学校評価アンケートについて】

今後も項目等について検討しながら、教育活動の質の向上を図るために改善を加えてまいります。